

の三つ點である。従つて何れも公定價格が問題とされてゐるが、その公定價格の基礎となるべき家計費、生産費を考へてみよう。先づ生産費に關しては農林省及帝國農會（中農上層標準）の調査がある之を對比しつゝ考察する。

自作農米一石當生産費（單位、圓）

直接生産費

	農林省	帝國農會
種子代	三三三（一〇%）	一九（一〇%）
肥料代	三五二（一、四%）	三三五（一、四二%）
自給	—	一九九（八、四%）
購入	—	三五七（一、〇%）
諸材料費	六二	五七
勞賃	七二八（三三、一%）	七一七（三〇、三%）

家族	
（） 雇入	六一七
蓄力費	一〇〇
小計	八四
間接生産費	一二〇二
農具費	六三
農舍費	六二
租税公課	五五
土地資本利子	一七九（八、一%）
小計	二九七（一、二六%）
合計	一、一〇七
副収入を差引	二二〇二（一〇〇%）
	二三五六（一〇〇%）
	二〇八八
	二一、八三